

MARYKNOLL
SAKURA

四日市メリノール学院

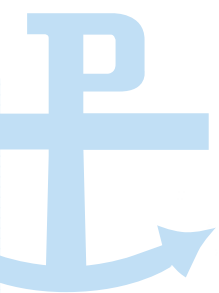
中学校・高等学校



maryknoll



学校案内 2024



「知」を磨き、「個」を輝かせる。 一人ひとりが主人公になれる学校へ。

メリノールは、生徒が主役の学校です。

自分らしさややりたいことは人それぞれだからこそ、

型にはまった教育ではなく、どんな挑戦でも応援する教育を目指しています。

未来は自分次第。何者にだってなれる。さあ、可能性を信じて、踏み出してみよう。

その一歩を、メリノールは全力で応援します。



四日市メリノール学院の歩み 沿革

- | | | | |
|---------|--------------------------------------|------|---------------------------------------|
| 1962.12 | ● 三重県及び四日市市の要請により
学校法人メリノール女子学院設立 | 2017 | ● 学校法人メリノール女子学院を
学校法人四日市メリノール学院と改称 |
| 1963.4 | ● 高等学校設立 | | ● グラウンド天然芝化 |
| 1964.4 | ● 中学校併設 | 2018 | ● 第2体育館完成 |
| 1971 | ● 高等学校に英語科開設 | | ● 英語科ICCの募集開始
(2023より普通科ICCに変更) |
| 1981 | ● 中学校が6年制コースを導入 | 2021 | ● 新テニスコート完成 |
| 1993 | ● エスコラピアス修道女会が教育に協力参加 | 2022 | ● 第3体育館完成 |
| 2000 | ● 併設型の中高一貫教育となる | 2023 | ● 創立60周年を迎える |
| 2003 | ● メリノール修道会より、
エスコラピアス修道女会へ設置母体を移行 | | ● 通信制課程設置 |
| 2013 | ● 創立50周年を迎える | | ● 3月までに7,291名の卒業生を輩出する |



教 育 目 標

キリスト教精神に基づいて、

高い知性・強い意志・豊かな情操を培い、

「真・善・美」を探究し、それによって、自己の陶冶と社会の進歩に

積極的に働きかける人間の育成を目指す。

四日市メリノール学院はおかげさまで



創立60周年記念式典のご報告

本学院は2023年に創立60周年を迎えました。これを記念し、5月12日、四日市文化会館 第1ホールで記念式典をおこないました。当日は、司教様による記念ミサや記念講演に続き、最後は理事長の挨拶で締めくくり、温かなお祝いの気持ちに溢れた場となりました。今後とも、四日市メリノール学院をよろしくお願いいたします。



「伝統」と「革新」の教育で人間力を育てる

本学院では、生徒の学力だけでなく知性や感性も育み、「人間力」を高める教育を大切にしています。絶え間なく変化を続ける時代において、これから社会に出る皆さんには、主体的な生き方が求められます。生徒が主体性を持って選択できる機会を増やすため、本学院はより自由な学びの場をつくっていきます。

「自由」とは、好き勝手に振る舞うことではありません。自身の意志で考え、決断し、行動し、結果に責任を持つことです。生徒の可能性を引き出し、「学びたい」「やってみたい」という気持ちに応えられるように。

生徒にとって、学校が「自分らしくいられる場所」であるように。60年間培ってきた「伝統」を大切にしながらも、固定観念にとらわれず、これからもメリノールは「革新」を続けていきます。

校長 高木 義成



60周年を迎えました。



01

ICT環境の充実

先進の学習環境を整え、 次の時代を切り開く力を養う。



動画やアプリで関心を高める授業づくりを実践

私が担当する理科の授業では、実験動画を生徒のタブレットに配信し、復習に役立てられるようにしています。また、電場や磁場を可視化できるアプリや、物体の運動をシミュレーションできるウェブサイトなども活用しているほか、顕微鏡の映像をWi-Fiでタブレットに転送できる装置も導入予定です。今後も、生徒の自然科学への理解・考察力を育てるために、ICTを効果的に活かした授業づくりを進めていきます。

大原 一真 先生

理科



ICTで実現する

主体的・協同的な学び

一人1台のタブレット端末活用

本学院は、学校教育のICT化にいち早く取り組んできました。学校内にインターネット環境やPCルームを完備しているのはもちろん、生徒には一人1台タブレット端末を配布。さまざまな教科の授業で活用しています。写真や図解を画面に表示しながら解説するほか、レポート作成や調べ学習にデジタルツールを用いて情報活用能力を磨く機会も。授業効率を高めることで、教員と生徒が双方向にコミュニケーションを取れる時間も確保できています。タブレットの学外への持ち出しも自由で、自宅学習のツールとしても役立てられています。



独自開発の教育プログラム「Scritivo」

本学院が独自に開発した、タブレット端末の教育プログラム「Scritivo（スクリティーボ）」。ネット環境が整っていればどこでも、自分のペースで学習に取り組みます。不明点があればタブレット内に記入して質問するなど、教員とのやりとりも可能です。また、課題を解くまでの過程を後から再生できるため、読む時間・解く時間・見直す時間などの分析も行えます。教員は個々の弱点を早期発見し、効率的な指導を実現できるようになりました。従来型の学習に加え、「Scritivo」を活用したICT教育の充実により、さらなる学習の発展に寄与しています。



ICTを導入した授業の事例

ICTを効果的に取り入れることで、生徒の授業への参画意識も高まっています。ある日の中学英語の授業では、英語音声付きのアニメーション動画を教材に使用。動画内に登場するフレーズから「生きた英語」を学びました。この動画を制作したのは高校3年生の先輩です。「大学進学を前に、英語力だけでなくICTの活用スキルを身につけるため、英語教材を作る挑戦をしてもらいました。こうした授業間連携により、中学生・高校生の双方の成長を促しています」と英語教員の由良先生は説明します。動画で学んだフレーズは授業内ですぐに出題。タブレットでワークシートを配布し、電子黒板を併用しながら添削・解説をスムーズに展開します。



INTERVIEW

タブレットで隙間時間を有効活用してやる気アップ

タブレットを活用することで手軽に勉強ができるようになり、ちょっとした隙間時間にも復習をする習慣が身につきました。教科書や参考書でしっかり覚えたい内容があるときには、そのページの写真をタブレットで撮影。バスの待ち時間や移動時間にサッと見返しています。自宅で学習に取り組む際には、主に「Scritivo」を活用。さらには、コミュニケーションツールの「Teams」で先生とやりとりをしたり、ノートアプリの「OneNote」でプリントに取り組んだり、授業や宿題ではさまざまなアプリを使い分けています。デジタルツールを自分なりに使いこなしながら、中学生のうちに苦手な科目を克服し、得意な科目を伸ばしていきたいです。

中学3年生

中村 美樹さん



02

個性を伸ばす

生徒一人ひとりの個性を尊重し、
最大限に伸ばす丁寧な指導を実施。



個々の「国語力」を伸ばし、学びの土台を構築

国語の授業で身につく読解力や表現力は、コミュニケーションの基盤となる能力です。相手の気持ちを理解し、自分の意見を分かりやすく伝えるスキルは、日常会話でも将来のビジネスの場でも役立ちます。授業中に個々へのアドバイスをするほか、希望生徒には大学受験に向けた小論文・面接対策のフォローを行うことも。中学生対象の放課後講座では作文指導を担当し、まずは「書く」を楽しんでもらうことから一人ひとりの成長を応援しています。

岡崎 真奈美 先生

国語科





「個」に寄り添い 未来を育てる教育

国際感覚を磨く英語教育

高校2年進級時に、希望者は英語教育に特化したコース「普通科ICC」へと進むことができます。ICCの学びは、語学力の習得だけでなく、国際協力の分野への理解を深めることを目的としています。国際社会で活躍するには、自らの意見を英語で伝えられるスキルが大切です。そのため、表現力や創造力を伸ばすカリキュラムを用意し、より実践的な学びとしてフィリピンのセブ島で1か月間の実習もおこないます。

「生徒主体」の学びを展開

今の時代の学校教育に必要とされるのは、興味・関心に合わせて生徒の意欲を引き出せる「個」の学びです。新しい学習指導要領でも主体的な学びが重視されるようになり、本学院のカリキュラムも大幅に変更。7限目の時間を使って多彩な講座を開講するなど、自由な学びを得られる機会を増やしました。教員主導ではなく生徒が自ら考え、行動する姿勢を促すことで、目指すのは能動的に学び続けられる人材の育成です。ぜひ、メリノールであなたの「好き」を見つけてください。



資格取得サポート

各教科の基礎学力を確認するため、また、学習モチベーションを高めるため、資格取得を積極的にサポートしています。特に、英検などの英語の外部試験は大学入試でも重要視されるようになりました。ネイティブを含む英語の教員が放課後に個別指導を行うなど、対策に力を入れています。一次試験（筆記とリスニング）の対策はもちろんのこと、二次試験（面接形式のスピーキングテスト）に向けて一人ひとりにしっかりアドバイスをおこない、資格の取得を目指しています。

INTERVIEW

検定で学力に自信を付け、夢に向かって日々前進

放課後の講座では、漢検・文章検対策講座を選択しています。周りにも同じ検定にチャレンジする仲間がいるとモチベーション維持につながり、勉強にも力が入ります。小学校1年生から漢検に挑戦し続け、現在は3級まで取得していますが、準2級の合格に向けて勉強中です。他にも、英検や数検などの資格取得にどんどん挑戦して、学びを深めていきたいと思います。将来の夢は、看護師や助産師など「いのち」に関わる仕事に就くこと。最近では、外国人患者の受け入れ体制を強化している医療機関も増えて、英語で意思疎通ができる人材の需要も増えているはず。高校に進学したらICCコースに入ってもっと英語力を高めたいです。

中学3年生

山下 寧花さん



03

人間性を育む

誠実に、美しく、豊かな心を育む、
「真・善・美」を探究する教育。



自分も他者も大切に行動できる「人間力」を育成

私もかつては、みなさんと同じようにメリノールで青春時代を過ごしていました。当時はインターアクト部に所属していましたが、今では同部の顧問として自分の知識や経験を還元しています。メリノールには、学力だけでなく人間力を育むことができる環境が整っています。たとえば、毎朝のお祈りは、登校直後の慌ただしさから気持ちを切り替えられるひととき。他者のために祈り、自分の内面を見つめる時間が心の成長につながります。

日数谷 祐依 先生

社会科・キリスト教倫理



キリスト教精神を 基盤とした心の成長

インターアクト部や聖歌隊の活動

インターアクト部では、募金活動、学校周辺の清掃、地域行事への協力などを行っています。「奉仕の心で歌う」をモットーとする聖歌隊は、地域施設や福祉・医療センターでの慰問演奏などで活躍しています。こうした活動を通じ、社会の中でボランティアや交流学習に取り組む生徒が毎年多数います。



共同体の中での隣人愛

本学院の特徴は、キリスト教精神に基づいた人間教育です。真理を追求し、善をおこない、周囲の人々とともに調和のとれた美しい世界を創ろうという「真・善・美」の心を大切にしています。聖書の一説には「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉があります。これは「隣人愛」ともいわれる教えで、他者を大切にする心について説いたキリスト教倫理の根本原理です。キリストがそうであったように、本学院で学校生活を送るうえでも、「他者のためにどう生きるか」という視点が重要だと考えています。クラスや部活の仲間たちと多くのことを話し合い、協力しながら、行動する力を身につけましょう。

修養会や奉仕活動

本学院では、授業だけではなく、学校行事などの多彩な活動によって生徒の個性を育てています。毎年開催している修養会は、日常から離れ、自分の生き方・考え方を見つめ直すことのできる場です。神父様の講話やグループワークを通じ、生徒たちは机に向かうだけでは得られない「心の学び」を深めます。さらには、学年ごとに奉仕活動や地域交流を行う機会も積極的に設けています。中学生は毎年、近隣の特別支援学校との交流活動に参加。温かな関係性を築くなかで、相手の気持ちに共感し、想い合うことの大切さを学んでいます。



INTERVIEW

学校行事や仲間の存在が、自分を前向きに変えてくれた

私は高校からメリノールに入学しましたが、中学からの内部生には高い目標を持って勉強やスポーツに努力している人たちが多く、良い刺激を受けました。最初は周りに馴染めるか不安でしたが、実際に話してみるとみんな気さくで、ともに切磋琢磨できる仲になりました。学校生活で印象的だったのは、毎年12月に開かれるクリスマス祝典です。ロウソクの火が美しい空間で静かに自分自身と向き合い、その時期に悩んでいた大学受験に関しても、落ち着いて思考を整理することができました。最近では、大学の志望学部である経営学や経済学の学びを吸収するため、学外の講演会などにも参加して充実した時間を送っています。

高校3年生

井浦 史さん





メリノールの6年間

中学校3年生では、高校に向けて先取り授業をおこない、さらに高校では豊富な授業プログラムで、一人ひとりの進路を実現する学力を養います。また国公立大学など一般入試対策はもちろんのこと、学校推薦型や総合型入試など幅広い受験方法に対応できるよう指導のステップを重ねていきます。一方、中高合同でおこなう部活動や行事などを通じて、学年を越えた生徒同士の関わりや地域の方々との連携によって、幅広い人間関係を形成し、コミュニケーション力や社会性を身につける環境も整っています。こうした環境が将来の「生きる力」になっていくものと考えています。皆さんも、本学院で未来への一步を踏み出しませんか。



CURRICULUM

2023年度 授業カリキュラム

中学校

junior high school

(中学校は週あたりの授業時間数)

	1年	2年	3年
国語	4	4	4
社会	3	4	4
数学	4	4	4
理科	4	4	4
英語	5	5	6
音楽	1.5	1	1
美術	1.5	1	1
保健体育	3	3	3
技術・家庭	2	2	1
キリスト教倫理	1	1	1
LHR	1	1	1
総合的な学習の時間(年間)	50	70	70

高等学校

high school

幅広い授業内容で

一人ひとりの希望進路を応援

高校1年次は普通科・ICCともに共通のカリキュラムで学習します。高校2年次からは普通科・ICCを自分の希望進路などに合わせて選択します。

普通科

ICC

単位	高 1
1	● 現代の国語
2	
3	● 言語文化
4	
5	● 地理総合
6	
7	● 歴史総合
8	
9	● 数学I
10	
11	数学A
12	
13	● 化学基礎
14	
15	● 体育
16	
17	● 保健
18	
19	● 音楽I / 美術I / 書道I
20	
21	
22	● 英語コミュニケーションI
23	
24	論理・表現I
25	
26	● 家庭基礎
27	
28	● キリスト教倫理(学)
29	● 総合的な探究の時間
	LHR

● 必修科目



高大連携の取り組み

早期段階から進学意識を高める機会を提供 2023年度より新プロジェクトもスタート

大学での学びに対する理解を深め、目的意識を高めるため、高大連携の取り組みを推進しています。2023年度より、高校1・2年生の希望者を対象とした新たな連携プロジェクトもスタート。南山大学をはじめ、大学と連携したアドバンスコース、鈴鹿医療科学大学と連携した医療コースそれぞれで独自のプログラムを展開しています。また、愛知淑徳大学に進学した学生による「学生生活報告会」によって、進路選択のイメージをより明確にすることができます。

講座について

放課後の時間を使い、多くの講座を開講しています。自分の進路に必要なことや、学びたいことについて理解をより深めることができます。



※鈴鹿医療科学大学連携コースの実験の様子

<2023年度開講実績>

- ・English Theater Arts
- ・iPadで音楽動画作成
- ・数学B「数列」
- ・作文講座II
～入試小論文にチャレンジ!～
- ・【実践】私たちのSDGs

(約20講座の中から一部抜粋)

普通科

高 2				高 3			
文系		理系		文系		理系	
論理国語				論理国語			
● 公共				古典探究			地理探究
古典探究		数学Ⅱ	数学Ⅱ	国語探究(学)			数学Ⅲ
日本史探究／世界史探究				日本史探究／世界史探究			数学C
文学探究Ⅰ(学)／歴史探究α(学) 数学Ⅰ・A 探究α(学)／英語会話(学)		数学Ⅱ	数学B	政治・経済			化学
音楽Ⅱ／美術Ⅱ／書道Ⅱ 生活デザインα(学)／ヴァリアススポーツ(学)			化学	文学探究Ⅱ(学)／歴史探究β(学) 数学Ⅰ・A 探究β(学)／イングリッシュプレゼンテーション(学)		化学 生物	
● 地学基礎		● 物理基礎		音楽Ⅲ／美術Ⅲ 生活デザインβ(学)／フィジカルフィットネス(学)			物理／生物
● 生物基礎				英語探究(学)			
● 体育				● 体育			
● 保健				英語コミュニケーションⅢ			
英語コミュニケーションⅡ				● 情報Ⅰ			
論理・表現Ⅱ				論理・表現Ⅲ			
● 情報Ⅰ				● キリスト教倫理(学)			
● キリスト教倫理(学)				● 総合的な探究の時間			
● 総合的な探究の時間				LHR			
LHR				LHR			

ICC

高2	高3
論理国語	論理国語
古典探究	古典探究
世界史探究	国語探究(学)
● 公共	世界史探究
● 生物基礎	
● 地学基礎	● 体育
● 体育	
● 保健	総合英語Ⅲ
● 情報Ⅰ	
総合英語Ⅱ	ディベートディスカッションⅡ
ディベートディスカッションⅠ	エッセイライティングⅡ
エッセイライティングⅠ	英語探究β(学)
英語探究α(学)	
● キリスト教倫理(学)	● キリスト教倫理(学)
● 総合的な探究の時間	● 総合的な探究の時間
LHR	LHR

本学院では、奨学生制度や育成入試制度を設け、意欲ある生徒の学びたい気持ちを応援しています。
この学校で過ごした時間を振り返ったときに「メリノールで良かった」と思えるよう、将来に向けてしっかりサポートします。

メリノールの奨学生制度

本学院の奨学生制度は、キリスト教の精神に基づいて本学院が設定したもので、学院が生徒を支援することで社会に貢献しようとするものです。
経済的に苦しい生徒を支援する「パウラモンタル奨学金」と、能力をより大きく引き出すことで、助けを必要とする人に手を差し伸べられる生徒に成長してくれることを願い、入試の成績に応じて奨学生を決定するS・A・Bタイプの奨学金があります。
さらに、スポーツや学習などさまざまな活動において、すぐれた実績を残した生徒には、努力タイプの奨学金があります。

各タイプ別奨学生の負担金額比較表 (2024年度入学生より適用・費用は年額)

中学校						高等学校					
通常						通常					
Sタイプ						Sタイプ					
Aタイプ						Aタイプ					
Bタイプ						Bタイプ					
努力タイプ						努力タイプ					
入学年度の経費	入学金	4.5万円				入学金	4.5万円				
	教育充実費	25.0万円				教育充実費	25.0万円				25.0万円
	授業料	30.0万円			12.0万円	授業料	42.0万円			21.0万円	42.0万円
	施設・教学費	12.0万円		12.0万円	12.0万円	施設・教学費	12.0万円		12.0万円	12.0万円	12.0万円
	旅行積立金	5.4万円	5.4万円	5.4万円	5.4万円	旅行積立金	6.6万円	6.6万円	6.6万円	6.6万円	6.6万円
	タブレット購入費 (2023年度金額)	8.6万円	8.6万円	8.6万円	8.6万円	タブレット購入費 (2023年度金額)	8.6万円	8.6万円	8.6万円	8.6万円	8.6万円
	協力会	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円	協力会	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円
	合計金額	87.2万円	15.7万円	27.7万円	39.7万円	合計金額	89.6万円	18.1万円	18.1万円	39.1万円	85.1万円
	特別支給奨学金		15万円支給			特別支給奨学金		20万円支給			
2年次以降の経費	授業料	30.0万円			12.0万円	授業料	42.0万円			21.0万円	42.0万円
	施設・教学費	12.0万円		12.0万円	12.0万円	施設・教学費	12.0万円		12.0万円	12.0万円	12.0万円
	旅行積立金	5.4万円	5.4万円	5.4万円	5.4万円	旅行積立金	6.6万円	6.6万円	6.6万円	6.6万円	6.6万円
	協力会	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円	協力会	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円	1.7万円
	合計金額	49.1万円	7.1万円	19.1万円	31.1万円	合計金額	50.5万円	8.5万円	8.5万円	29.5万円	50.5万円
	特別支給奨学金		15万円支給			特別支給奨学金		20万円支給			

※高等学校の授業料は、就学支援金により実質納付額が変わります。※奨学生は、年度ごとの見直しになります。※パウラモンタル奨学金は中学生のみとなります。

メリノールの「育成入試」について

学びへの意欲を評価に反映する入試制度

2018年度より、中学校・高校ともに新たな制度として導入した「育成入試」。調査書や試験点数だけによる判定ではなく、熱意や人物本人を総合的に判断し、選考する入試です。事前にエントリーシートを提出の上、出願許可が出た場合に受験できます。
本学院では、努力を惜しまずチャレンジする姿勢を持った生徒の皆様に入学していただきたいと考えています。
学習意欲を示していただくために、試験では前もって準備した問題集から7割程度同問題を出题します。
入学前から繰り返し学習する習慣を身につけることにより、基礎学力の充実にも期待ができます。「育成入試」での受験も選択肢のひとつとしてお考えください。

夢を叶えた先輩たち!!

2023年度入試では四年制大学進学者が78名、専門学校36名、短大7名、就職5名、その他5名という結果でした。今年度も上智大学(4名)と南山大学(15名)の人气が高く、カトリック推薦を含めたさまざまな入試制度を利用して多くの合格者を出すことができました。本校は愛知県の私立大学の指定校を数多くいただいていることもあり、多くの生徒が愛知県に進学しますが、今年度は関西圏への希望者も多く、関西大学や関西学院大学といった関西の人気大学への合格をいただくことができました。この傾向は今後も続いていくと予想しております。また、大学入学共通テストに向けて努力をする生徒も増え、三重大や南山大学を含めた多くの大学から合格通知をいただくことができました。次年度も生徒の希望を叶えるために全職員で進路実現へのサポートをしていきたいと考えております。

2023年度入試 4年制大学の主な合格状況
卒業生131名中、19名が上智大学・南山大学に合格!

- 上智大学 (4)
 - 南山大学 (15)
 - 立教大学 (1)
 - 東京女子大学 (3)
 - 関西大学 (1)
 - 関西学院大学 (1)
 - 関西外国語大学 (1)
- 京都外国語大学 (2)
 - 京都産業大学 (3)
 - 大阪体育大学 (1)
 - 愛知大学 (1)
 - 中央大学 (5)
 - 名城大学 (2)
 - 愛知学院大学 (4)
- 愛知淑徳大学 (7)
 - 金城学院大学 (6)
 - 椋山女学園大学 (5)
 - 名古屋外国語大学 (2)
 - 鈴鹿医療科学大学 (6)
 - 三重大 (1)

個人重視の指導で主体性を育み
進路実現とその先の未来へ

本学院の進路指導は進路指導部、担任を中心に全ての教員で担当します。一人ひとりの未来を見据えた、親身で細やかな指導が特色です。現在は、文部科学省による教材「キャリア・パスポート」のオンライン化、大学入試のオンライン面接対策など、時代に即した指導にも力を入れています。
何より大切にしているのは、生徒の意思を尊重すること。「何を考え、何をしたいのか」という本音と向き合い、最良のアドバイスをおこないます。生徒が心から望む道を進むためには、自ら未来を切り拓く力も必要。進学・就職対策だけでなく、その先の可能性を拓くサポートも、進路指導の役割です。メリノールはあなたの挑戦を応援します。



進路指導部長
伊達 功治 先生



メリノールから大学へ、社会へ羽ばたいた卒業生は約7,000人。今でも多方面で活躍しています。

01 | メリノールから社会人へ

メリノールで培った「奉仕の心」を胸に、 患者さんを笑顔にできる医師をめざしたい

私は現在、医療現場で研修医として働いています。医療職に就きたいと考えようになったのは、かつて親族が緊急入院をして不安だったとき、病院スタッフの方々がとても親身に接してくださったことがきっかけ。なかでも、直接的に治療に携わる医師の仕事に魅力を感じました。私が日々、患者さんにしっかり傾聴して寄り添うことができているのは、メリノールで培った奉仕の心が根本にあるからこそ。他職種のスタッフや同僚にも思いやりを持って接し、何事にも全力を尽くすことを心がけています。また、メリノールで身につけた英語力は、英語の医学論文を読み書きする力にもつながりました。

就職先 三重県立総合医療センター 高木 里英子さん(2015年度卒業)



02 | メリノールから大学へ

英語の基礎力や主体的な行動力、 メリノールでの成長の実感 自分にとっての大きな財産

大学では英語のほか、第二外国語として中国語の勉強を頑張っています。学部学科の授業に加え、中学校・高校の国語科教員免許を取得するための教職課程や、日本語教師の養成プログラムも受講。外国語学習の意欲を高く保つことができているのは、メリノールでの学びの影響が大きいと感じています。英語の授業が充実していたことはもちろん、ネイティブの先生の勧めで英語のスピーチコンテストに挑戦したことや、学級委員と生徒会長を務めたことなど、数々の経験が今の大学生活に活かされています。

進学先 南山大学 人文学部
日本文学科 2年
宮原 彩花さん(2021年度卒業)



03 | メリノールから大学へ

高校時代に身につけた 前向きなチャレンジ精神が 新生活を充実させるためのエネルギーに!

ポルトガル語にはほとんど触れたことはありませんでしたが、新たな言語や地域について学ぶことに面白さを感じ、現在の学科を選びました。最初は不安もありましたが、予習・復習を大切に毎日楽しみながら知識を吸収しています。「分からない」「できない」と言い訳をして諦めるのではなく、失敗を恐れずにまずは挑戦してみる意識は、メリノールで過ごした時間の中で身につけられたもの。高校の部活動でのマネジメント経験も、周囲への気配りや物事を先読みして動く力に結びついたと思います。

進学先 上智大学 外国語学部
ポルトガル語学科 1年
山口 杏さん(2022年度卒業)



CAMPUS LIFE



PICKUP

顧問紹介 美術部 飯田 桃子 先生

美術部は中学・高校の壁もなく、気軽に創作の面白さに触れられる場です。「何を描くか」以前に「どんな画材で描くか」を選ぶのも楽しみのひとつ。油彩・水彩・アクリルなど、新しい画材との出会いによって、自分に合った創作活動を見つけられます。平面作品に限らず、自由度の高い立体作品にチャレンジすることも可能です。過去には、ハリガネで椅子を作った生徒や、精巧なミニチュアハウスを作った生徒もいました。「みえ高文祭」などの展覧会に出展する作品には特に力を入れ、仲間から刺激を受けながら自分の個性を磨く時間を大切にしています。



本学院では、茶道部をはじめとした文化部、バスケ部をはじめとした運動部と多くの部活があり、

数多くの生徒が授業後に各々の個性を活かして活動しています。

また、文化祭や修養会などそれぞれの特徴がある学校行事が多数あり、授業だけではなくさまざまな活動を通して個性を育てていきます。

四日市メリノール学院で、あなたも充実したキャンパスライフを送りませんか。



クラブ・サークル一覧

※は同好会

	運動部	文化部		運動部	文化部
中学校	弓道	聖歌隊 (吹奏楽含む)	高等学校	弓道	演劇
	テニス	美術		バドミントン	箏曲
	バスケットボール	華道		テニス	美術
	新体操	茶道		バスケットボール	茶道
	ラグビー	華道		新体操	写真
	ダンス	※卓上遊戯		ラグビー	聖歌隊
	ゴルフ	※カルタ		ダンス	(吹奏楽含む)
		※自然科学同好会		ゴルフ	※卓上遊戯
				※卓球	※カルタ
					※自然科学同好会

CAMPUS CALENDAR

季節の節目の式典や豊かな感性を育む行事など、メリノールには年間を通じて出会いや体験の機会があります。

素敵な思い出をたくさんつくって、あなたらしい未来の糧になる学校生活を送ってください。

4

Apr.

- 入学式・始業式
- 新入生
オリエンテーション
- 新入生歓迎会
- 生徒会役員選挙
- 実力テスト

5

May

- 創立記念日
全校集会
- 保護者会
- 防災教室
(1年生のみ)
- スポーツデー
- フィリピン研修
(ICCのみ)

6

Jun.

- 実力テスト
- 合唱祭

7

Jul.

- 定期考査
(第1回)
- 夏期補習

8

Aug.

- 夏期補習

9

Sep.

- 実力テスト
- 芸術鑑賞
- 個別懇談
- 前期終業式

何でも全力!



一緒に
盛り上げよう



入学式



研修旅行



スポーツデー



入学式



スポーツデー





10

Oct.

- 後期始業式
- 研修旅行・社会見学
- 修養会・奉仕活動
- 文化祭

11

Nov.



一生の友達ができる!

12

Dec.

- クリスマス祝典
- 個別懇談
- 定期考査 (第2回)



メリノール
ならではの行事も

1

Jan.

2

Feb.

- 海外研修 (希望者のみ)
- 実力テスト

3

Mar.

- 定期考査 (第3回)
- 卒業式
- 修了式
- 後期終業式

● 共通行事 ● 中学校行事 ● 高校行事 ※実力テストは年度によって変動します。

研修旅行



合唱祭



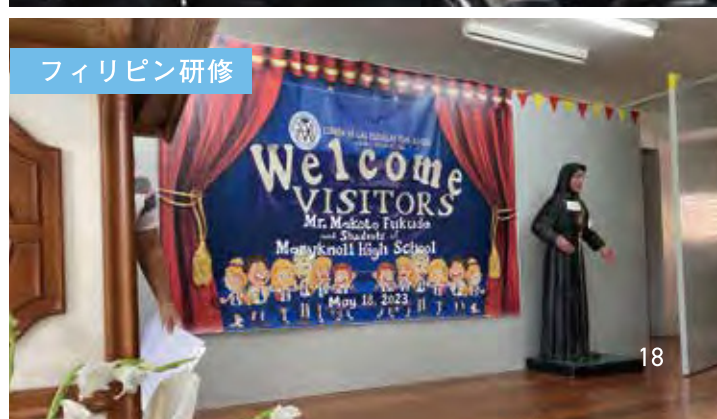
文化祭



クリスマス祝典



フィリピン研修

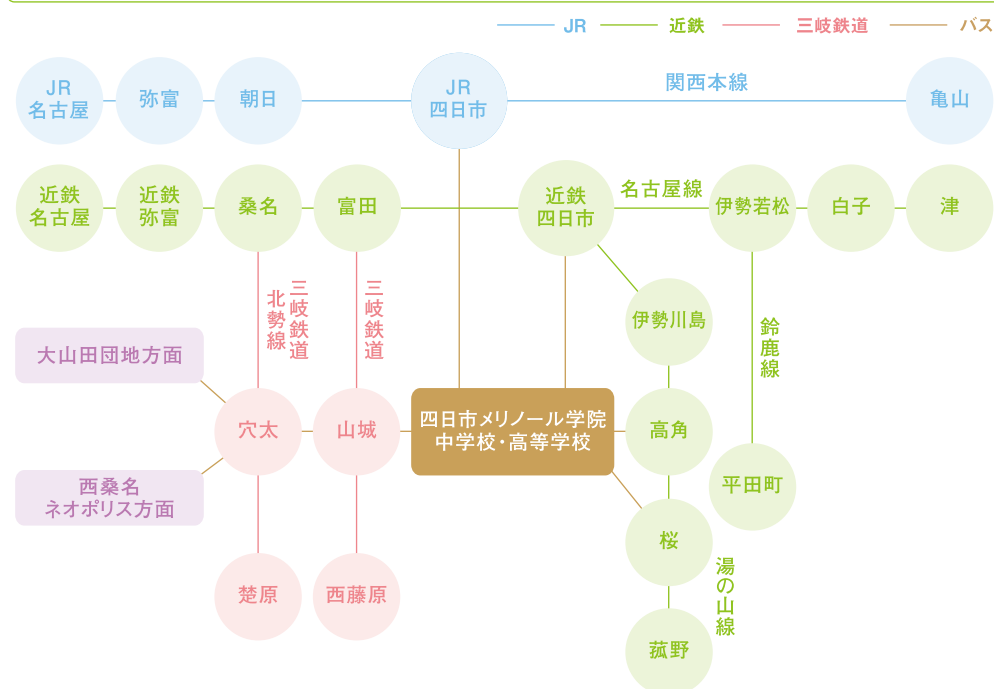


Yokkaichi Maryknoll Gakuin



ACCESS アクセス

路線案内



バス所要時間案内

■ 亀山方面から

JR四日市駅からバス(近鉄四日市駅経由)/25～30分

■ 桑名・鈴鹿方面から

近鉄四日市駅からバス/20～25分

近鉄高角駅:伊勢川島駅から自転車/15～20分

■ 員弁方面から

三岐鉄道山城駅からダイレクトバス

六把野からダイレクトバス

三岐鉄道北勢線穴太駅からダイレクトバス

■ 近鉄四日市駅からのバス

専用バス/20分

定期バス:福王山方面行のバス

(末永橋・メリノール経由)/20分

四日市消化器病センター行きのバス

(美里ヶ丘・メリノール経由)/25分

■ ダイレクトバス

西桑名ネオポリス・希望ヶ丘・大山田団地・穴太駅・山城駅などから(長期休暇を除く)

近鉄高角駅・桜駅から



四日市メリノール学院
中学校・高等学校

〒512-1205 三重県四日市市平尾町2800

TEL.059-326-0067 FAX.059-326-8345

<https://maryknoll.ed.jp/>



表紙イラスト

高校Ⅱ年C組
西澤 七海さん